

# 鳴呼 舞子ピラ

## — シルビアシジミの産地消滅 —

勝 屋 潤

舞子ピラ（神戸市垂水区）は海岸から水平距離約100 m、海拔約30 mの小高い丘に建つ結婚式場（ホテル兼）である。最近になって新館が建てられ駐車場も完備されたが、建物周辺の植物は保護され、松を主体とした舞子公園の中に位置している。その裏（東側）には約200㎡の空地があり、ここにはアラカシ、イヌビワ、クヌギ、コメラ等の樹木で囲まれた小さな草原となっていた。一面にミヤコグサとシロツメグサが咲き乱れ、モンキチョウやウラナシジミが飛びかい、上空をモンキアゲハが飛んでいた。

1982年10月9日、私は当時の自宅から歩いて30秒とかならないこの草原にミヤコグサを採取に行った際（当時尼崎市産のシルビアを飼育していた為、その食草として採取）シルビアシジミが発生しているのを確認した。神戸市垂水区にシルビアシジミが棲息しているというのは別に不思議でもないが、こんな海辺によくいたものだと思ったのであった。この日はシルビアシジミ2♂1♀とミヤコグサより8卵及び4幼虫（2～4令）を採集した。

またアラカシで発生していたムラサキシジミやクズに産卵中のウラナシジミ及びウラギンシジミも多数確認できた。

翌10月10日夕刻、再度訪れた際はシロツメグサで吸蜜中のツマグロキチョウ（秋型♂）や上空をゆっくりと飛翔中のアサギマダラを確認した。この2種に関しては近くに食草がない為、恐らく六甲山系からの飛来個体と思われる。この日もシルビアシジミは1♂のみであるがミヤコグサで吸蜜中の個体を確認できた。

周年経過（発生回数）は1983年に春から調べて尼崎産と比較するつもりでいた矢先、1981年1月より高年マンション建設の為此の空地一帯にブルドーザーが入り込んだ。知らせを聞いた時には既に「立入禁止」となり、足を踏み入れる事もできず、わずか2日間でミヤコグサはもちろん、附近のアラカシ、イヌビワも全てなぎ倒され、1本の草木もなくなってしまった。

その後、3月に私は西区へ転居した為、この地を訪れていない。後に近くの舞子墓園を探索したがシルビアはおろかミヤコグサさえ発見できなかった。

（神戸市西区美穂ヶ丘3-3-17-404）